

動労「本部」第38回全国大会方針(案)を批判する

日刊 動労千葉

82.8.12

No. 1120

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)品三三二七二〇七

その1 『働こう運動』で動労の産報化をなごげよう 『本部』革マル反動分子を追放・掃せよ！

全組合員の皆さん！全国の闘う動労組合員の皆さん！動労「本部」第三八回定期全国大会は、来る八月二五日～二八日の四日間、北海道において開催されようとしている。今日、動労「本部」を牛じる動労革マル反動分子は、動労の戦闘的伝統をじゅうりんし、「働こう運動」を基本路線として全組合員に強制することによって、動労を完全な産業報国労働組合へとひきずり込もうとしている。さらに、右翼労働統一攻撃に対しては、今や「総評の最左翼から最右翼」としてのふるまいを公然と行っている。

かつてない重要な全国大会

第三八回定期全国大会は、動労の進むべき路線をめぐってかつてない重要な大会である。

かつての動労の戦闘的伝統をとりもどし、今日の臨調・行革攻撃―軍事大国化・戦争への道―国鉄労働運動解体攻撃と対決するのか、それとも、公然たる翼賛運動―産報化への道をころげ落ちるのか。

わが動労千葉は、動労からの分離・独立をかけた闘い抜いてきたその路線の正統性・正義性にかけて、動労「本部」革マル反動分子の翼賛運動―産報化の大反動方針を、こみあげる怒りをこめて徹底弾劾するものである。と同時に、「本部」革マル反動分子の反動的運動方針(案)に徹底した批判を展開し、この反動的方針(案)を粉砕にむけて全国の闘う動労組合員の総決起をよびかける。

「働こう運動」を不退転の決意ですべての運動課題の中心軸に据える

「運動の基調」の項でも明らかにように、「本部」革マル反動分子は、反動的な「働こう運動」を動労運動のすべての課題の中心軸として不退転の決意で取り組むことを明らかにしている。

「働こう運動」は、すでにこの間、われわれがくりかえし明らかにしてきたように、動労の戦闘的伝統をふみにじり、増産運動をもって動労の産報化をめざす超反動的な方針である。

「働こう運動」は、「厳しい冬の時代論」「吹き荒れる未曾有の国鉄解体攻撃論」をならべたて、敵支配階級の攻撃を利用して、怒りと不満を込めて闘いに決起せんとする動労組合員をどう喝する、という右翼反動方針に他ならない。

そして、ヤミ・カラⅡ既得権剥奪攻撃の具体的

攻撃であるブルトレ手当返済攻撃への公然たる屈服と大裏切りは「働こう運動」の必然の結果である。

方針(案)は、このような超反動的な「働こう運動」を「本年のすべての運動課題の中心軸」に据え、不退転の決意でたたかいぬく」としているのである。

動労をこれ以上はづかしめてはならない

これは、まさしく、動労を公然たる産報化・翼賛勢力へと変質させ、政府・支配階級が推進する臨調・行革攻撃―軍事大国化・改憲―戦争政策を担う勢力へと大きく転換させる極めて危険な運動方針(案)に他ならないのである。

われわれは、動労を革マル反動分子によってじゅうりんさせてはならない。戦闘的伝統と闘う組織を誇りとした動労をこれ以上はづかしめてはならない。

全国の闘う動労組合員の皆さん。

共に総決起し、右翼反動分子「本部」革マルを追放・一掃し、動労大改革へと決起しよう。

(以下続く)

動労も返済に同意



ブルトレのヤミ手当

国労、依然拒否続ける

当15日メドに簡裁に提す

組合の共同歩

「労使交渉に応じる」

国労当局に要請出す

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！